



© 武藤敬

© 塩澤秀樹

▶山形テルサ指定事業

永田美穂 & 中木健二 デュオコンサート

2019年 7月15日(月・祝)

午後 3:00 (開場 午後 2:30)

山形テルサホール

S.ラフマニノフ/前奏曲より 作品23-6, 作品32-12, 作品23-5, 作品23-2
/チェロとピアノのための二つの小品 op.2より 前奏曲

S.プロコフィエフ/チェロとピアノのためのソナタ op.119

R.シューマン/ 幻想小曲集 op.73

F.シューベルト/ アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821

Miho Nagata & Kenji Nakagi

■ チケット料金

指定席 4,000円
自由席 (一般) 3,500円
自由席 (学生) 2,000円

【当日券は500円増し】

■ チケット取扱い

山形テルサ/富岡本店/大沼山形本店/かみのやま
温泉観光案内所/三友エンジニア体育文化センター

■ チケット発売 2019年4月20日(土)

■ お問い合わせ・チケット予約 090-5234-1223 (木村)

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。
当日はキッズルームを開設致します。
(有料500円/要予約3日前まで)

■ 主 催 永田美穂 & 中木健二デュオコンサート実行委員会
■ 協 力 NPO法人 Mプロジェクト
■ 後 援 山形市教育委員会/上山市教育委員会/
山形新聞・山形放送

ファンタジーとノスタルジー

いつの時代も、クラシック音楽は作曲家の持つふるさとへの愛情と共に育まれてきました。どこか懐かしい思いのするような旋律や、故郷を思わせる風景は国境と時代を超えて誰もが抱く感情の一つです。

一方、一度その響きに触れるだけで非日常の世界に誘われるような幻想的な作品もまた、個性豊かな作曲家によって育まれてきました。そのパレットの中には、作曲家の抱いた夢や理想が描かれていたに違いありません。ファンタジーとノスタルジー、“幻想と郷愁”をテーマに、辛辣でありながらも懐かしさを感じる作品をチェロとピアノの多彩な響きにのせてお送りします。

Profile

♪永田美穂 (ピアノ)

Miho Nagata, Piano

山形県上山市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業後、渡仏。2008年パリ・エコールノルマル音楽院最高課程コンサーティストの修了試験で、マルタ・アルゲリッチ、シブリアン・カツァリス、アブデル・ラーマン・エルバシャ、デビット・ライプリー各氏が審査員の中、満場一致の首席でディプロマ取得。同年イタリア・イモラ国際ピアノアカデミーのディプロマ取得。2007年第10回ジャン・フランセ国際コンクール第3位(第2位無し)。2008年第1回ヴァル・ディゼール国際コンクールグランプリ受賞。2009年第11回イルド・フランス国際コンクール第2位、併せて特別モーツァルト賞受賞。ベルギー・ブリュッセルで行われた音楽祭ではオーディションに合格し、王立音楽院ホールでニージニー・ノヴゴルド・クレムリン交響楽団とチャイコフスキーピアノ協奏曲第1番を共演。また出身地となる山形では、飯森範親、工藤俊幸、黒岩英臣各氏の指揮によりベートーヴェン、ラヴェル、モーツァルトの協奏曲を山形交響楽団と共演している。第22回「アフィニス夏の音楽祭2010山形、東京・春・音楽祭2015にて室内楽演奏会に出演するなど、アンサンブルにも意欲的に取り組んでいる。パリ・コルトーホール、リュクサンブール宮殿、第17回サントンジュ・ピアノフェスティバルなど、フランス、ドイツ、オーストリア、ポルトガル、イタリアでソロおよび室内楽演奏会に出演。かみのやま音楽祭～Le château KAMINOYAMA～へ協力アーティストとして参加。2014年4月より日本へ拠点を移し、国内外においてソロや室内楽の演奏活動を行っている。これまでに一柳多津子、一柳和男、須田眞美子、ギグラ・カツアラバ、レオニード・マルガリウス、リカルド・リザリテイ、アンヌ・ケフェレック、室内楽をエリック・ルサージェの各氏に師事。2015年5月にオクタヴィア・レコードよりモーツァルトの協奏曲・ソナタを取録したデビューアルバムをリリース。

♪中木健二 (チェロ)

Kenji Nakagi, Cello

愛知県岡崎市生まれ。3歳でチェロを始める。名古屋市立菊里高等学校、東京藝術大学を経て2003年渡仏、パリ国立高等音楽院チェロ科でP.ミュレルに師事し、07年にブルミエ・プリ(一等賞)および審査員特別賞をもって卒業。さらに09年スイス・ベルン芸術大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。また、04年より6年間イタリアのキジアーナ音楽院夏期マスタークラスでA.メネセスのクラスを受講し、最優秀ディプロマを取得。2005年第5回ルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位受賞。同年、第16回FLAME音楽コンクール(フランス)優勝。08年第1回Note et Bien国際フランス音楽コンクールでグランプリならびにドビュッシー特別賞、ブレーズ特別賞を受賞するなど、受賞多数。2010年よりフランス国立ホルドー・アキテーヌ管弦楽団首席奏者として活躍すると共に、リサイタル、オーケストラとの共演、音楽祭出演など幅広い演奏活動を行う。室内楽にも精力的に取り組む、S.アッカルド、B.ジュランナ、A.メネセス、A.チュマチェンコ、C.イヴァルディ等と共演。2014年4月帰国。ソリストとして活躍するほか、14年にアンサンブル「天下統一」(ヴァイオリン:長原幸太、ヴィオラ:鈴木康浩)を結成し定期的に演奏活動を行うなど、室内楽にも情熱を注いでいる。2013年にデビューCD「美しき夕暮れ」をリリース(キングレコード)。16年11月にリリースされた「J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲全曲」(キングレコード)は「レコード芸術」誌で特選盤に選出された。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学音楽学部准教授。使用楽器は東京藝術大学所蔵の1691年製ジョヴァンニ・パティスタ・グランチーノ。Thomastik Infeld社契約アーティスト。第11回名古屋音楽ベンクラブ賞受賞。

